

令和4年度 社会福祉法人仁多福社会立阿井保育所事業報告

社会福祉法人仁多福社会

1. 経営理念

「献身・貢献」 「規律・秩序」 「努力・向上」 「縁・感謝」

2. 基本方針

○多様性に対応出来る人材の育成

- ・課題に気付き、解決に向けて自ら行動を起こす人
- ・想定外の事象に柔軟に対処できる人
- ・多様な価値観と共存できる人
- ・課題解決能力の向上に努力する人

○自己実現への相互支援

○地域貢献

- ・日常的な相談への対応
- ・緊急事態下での地域への協力
- ・地域の伝統継承など地域活動への協力
- ・社会における課題の顕在化と解決策の提案

○感染症対策を行いながらの事業の実施

○「働きたい」と思われる職場づくり

3. 令和4年度の重点課題

- ① 生産性の向上
- ② ハラスメントの防止と良好な人間関係の形成
- ③ 緊急事態下での施設開放など地域への協力（性別、障害等に配慮した対応）
- ④ 老人保健施設の今後についての検討
- ⑤ 保育所の今後についての検討
- ⑥ 広報機能の充実
- ⑦ 人材不足への対応（外国人材の活用等）
- ⑧ 感染防止策の徹底と防災意識の向上及び業務継続計画の整備

《仁多福社会保育所経営理念》

- ・仁多福社会の保育所は、0歳から就学前の乳幼児の最善の利益を求めるための保育（養護と教育）を行う。
- ・職員は保護者や地域社会と力を合わせ、一人一人の育ちを見つめ、支える人として豊かな人間性と専門性の向上に努め、高い倫理観を持つ。

《保育理念》

- ・恵まれた自然環境の中でのあそびや体験活動、地域の人たちと触れ合う経験を一人一人を大切にしながら豊かな愛情ある環境のもとで、生きる喜びと生きる力の土台を育むことを基本とし、その健やかな育ちを支える。
- ・阿井の子育ての拠点として、安心して子育てができる環境を整え、子ども、保護者、保育者が共に育ちあう保育所を目指す。

《保育目標》 『たくましく心豊かな子』

- ・元気にあそぶ子 ・仲良くできる優しい子 ・意欲を持つ子
- ・自分で考えて行動できる子 ・よく噛んで何でも食べる子

《基本方針》

- 阿井の自然の中で様々な体験を通して、豊かな感性を育て健康な体づくりをしていく。
- 地域の人や異年齢のふれあいを通して、人と関わる力を育てていく。
- 保護者とともに子どもの自立性を育てながら、基本的生活習慣を身に付けるようにしていく。
- 地元野菜や旬なものを取り入れ、安全で体に優しい、心に残る食事作りに努める。
- 積極的に小学校と連携をとり、安心して就学できるようにしていく。

《保育の中で大切にしている事》

○自然体験保育

- 身近にある自然を大切にし、体験活動の中で四季の変化に気づく豊かな感性を育てる。
- 園外保育や散歩に出かけ、自然の中で思い切り体を動かして遊んだり、しっかり歩く経験を通して、体力づくりをしていく。
- 米や野菜作りを行い、生物の成長の喜びや、働くことの大切さ、収穫の喜びを体験する。

○地域との交流、異年齢交流保育

- 地域の中に積極的に出かけたり、地域の人を招いたりして触れ合い、人と関わる力を育てていく。
- いろいろな年齢の子ども達との交流を通して、人を思いやる優しい気持ちや、やってみようとする意欲を育てていく。

○基本的生活習慣

- 自分でしようとする気持ちを育てながら、毎日の繰り返しの中で身につくように、保護者と連携を取りながら根気よく対応していく。

○食育

- 地元野菜や旬の食材をできるだけ多く取り入れたり、子どもたちが栽培した野菜を使い、栄養のバランスに工夫した献立を作っていく。
- 食育カレンダーやその日のメニュー展示、手作りおやつを試食やレシピの配布を行い、食事に対する関心を深めていく。
- 手作りおやつで手作りの温かさを伝える。
- 栽培活動やクッキング保育などの活動を通して食べ物への興味、関心を持ち、命をいただくという感謝の気持ちを持つことを伝えていく。

○小学校との交流

- 小学校生活に見通しを持ち、期待感を持って就学できるように、小学校との連携・交流を深める。

《保育事業》

• 地域活動事業

育児講座 異年齢交流 世代間交流を行う。

• 特別延長保育事業

18時半から19時までの延長保育を行う。

○令和4年度 クラス編成及び入所児童数

4月	組	ひよこ		りす		うさぎ	きりん	らいおん	計
	年齢	0歳児	1歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
	人数	2名	1名	4名	8名	8名	8名	7名	
	合計	3名		12名		16名		7名	38名
3月	年齢	0歳児		1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	人数	5名		5名	7名	8名	8名	7名	
	合計	5名		12名		16名		7名	40名

○職員体制

	氏名	担当	職名	氏名	担当
園長	藤原 愛子	経営管理	保育士	若槻喜美江	ひよこ組 (0歳児)
主任	石原 美穂子	総括	保育士	加藤 美保	りす組(1.2歳児) (12月よりうさぎ組)
保育士	板持 志穂	りす組 (1.2歳児) チームリーダー 研究リーダー	保育士	小早川美有 紀	フリー
保育士	中西 祐紀	らいおん組 (5歳児) 小学校連携 幼児教育リーダー 研究サブリーダー	支援員 保育助手	糸原 弥生	放課後児童クラブ
			支援員助手	川角千草	放課後児童クラブ
保育士	山田 芽衣子	きりん組(4歳児) 障がい児教育リーダー 研究サブリーダー	栄養士	稲垣仁美	調理・食育担当 食育リーダー
保育士	鐘撞 凌子	ひよこ組 (0歳児) 乳児保育リーダー	調理員	高田 昌子	調理
保育士	石山 瞳	りす組(1, 2歳児) 保健衛生リーダー	嘱託医	奥出雲病院	内科 前山正孝
保育士	伊藤 綾子	うさぎ (3歳児) 保護者支援リーダー (12月より産休)		太田歯科 クリニック	歯科 太田 和人
				高松歯科	高松弘道 11月より

令和4年度 定員(40名)

〔入所の状況〕

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	2	2	2	2	2	2	3	4	4	4	5	5	37
1歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
2歳児	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	86
3歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
4歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
5歳児	7	7	7	7	7	6	6	6	6	7	7	7	80
合計	38	38	37	37	37	36	37	38	39	39	40	40	455
利用 総数	726	669	828	717	710	752	624	726	776	582	675	834	8,619

本年度は38名でスタートし、6月に1名退所したが、10月、11月、2月に予定していた3名の入所があった。9月から12月まで都合による退所が1名あったが1月に再入所し、3月には40名となり、7名の卒園児を送り出した。

〔延長保育・特別延長保育 利用状況〕

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	3	4	5	2	8	5	5	6	6	2	1	1	48

保護者の方の就労形態に応じて対応し、寂しくならないように安心できる体制で保育を行ってきた。

〔開放保育 利用状況〕

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	0	1	1	0	1	1	2	2	1	1	0	4	18

今年度も引き続き、コロナウイルス感染症の状況に応じて開放し、未就園のお子さんに遊びに来ていただいた。入園前のお子さんの保護者の方とは情報交換をしながら、入園へと繋いでいった。

〔相談事業 状況〕

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	0	38	0	0	1	0	1	1	0	39	0	1	81

「ほかほかタイム」 「個人面談」

5月、1月に個人面談を行い、生活リズムを整えることや離乳食、食事についての相談を受けた。又、保護者が相談したいと思った時に都合を合わせて話を聞き、より良い子育てに繋がるように対応した。

〔わくわくふれあい週間 参加状況〕

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	0	1	6	7	7	2	5	2	0	5	1	5	41

コロナ感染症などの状況に応じて、保護者へ保育の参加を募り、取り組んできた。園での生活や遊びの様子を見てもらい、保育について理解していただける機会となった。

今年度の取り組みのまとめとして

○入所状況について

本年度は定員を50名から40名に変更しスタートした。4月当初の入所がなく38名でスタートしたが、3月には40名になり7名の卒園児を無事に送り出した。

本年度もコロナ禍の中感染予防に努め、制限しながら出来る活動を模索していたが屋外での活動では少し活動範囲や内容も広げることができ、工夫しながら子どもたちが楽しめる活動を行うことができた

○保育事業

研究テーマ「ねえみて！やってみたい！あそびたい！子どもの思いがかなう保育を目指して」

～体づくりの取り組みを通して～

このテーマで取り組んできたことを、雲南保育協議会において、10月に本園にて保育を公開し研究協議を行った。講師を迎え、研究を深め実践していることを題材として提案し、久しぶりに一同を介して協議する有意義な時間を設けることができた。

研究をすすめていく中では、コロナ禍の中ということもあり、職員の急な休みが入り、中々思うように進めることができないこともあったが、日々の保育の中での課題を、実践を通して検証し、それが子どもたちの育ちと職員の大きな学びにつながっていることを評価していただき、成果を実感できた。皆さんからいただいた意見や感想を今後に生かし、さらに深めていきたいと思っている。

○阿井ならではの保育を目指して

地域を探索し、もっと阿井を知ることを目的とし、親子遠足としての大上、雲崎方面へのウオークラリー遠足、5歳児の鯛の巣登山、からすみ城登山、園外活動として、雲崎へ柿とり、お寺での座禅体験など、地域へ出向き体験活動を行った。

地域講師の方とのつながりを大事にし、協力していただきながら阿井の良さを肌で感じる事ができた。

○安心安全を大事にした保育

- ・平素の感染症対策を心がけ、室内の清掃、オゾン発生装置などを活用し保育環境を整え、職員の急な休みも協力し合い安全対策を心がけた。

- ・建付けが悪くなった箇所の修繕を行ったり、古くなった園庭遊具(丸太を使った遊具)は保護者会役員さんに協力いただき交換していただいた。

雨どいの掃除や窓ふきなど、勝山建設さんや町内郵便局の局長さん方のご厚意できれいにしていただいたりと、いろいろな方々にお世話になりきれいな環境で活動することができていることに感謝している。

- ・非常災害時の訓練として2回の引き渡し訓練を実施、不審者対応訓練の実施、非常時の体制の確認を行った。これからも訓練を通して、内部での連絡の取り方や行動の確認をしていく。

○子どもを包む、支える、つなげる、見守るネットワーク

- ・カリキュラム会や、その他の職員会の中で、子どもを語ることを大事にし、支える方法をいろいろな視点で考えることを意識してきた。各機関とつなぐことが必要だったり、保護者への声かけが大事だったりと手立ては様々だが、発信し、みんなで見守ることを今後も続け、良いアプローチをしていきたい。

○働きやすい職場づくり

今年度はコロナ禍の為、職員の休みが続きカバーし合いながらの保育を行ってきた。日々成長していく子どもたち、日々変化する活動への対応など、すれ違いが続く職員体制の中で、精神的に厳しい時期もあったように思う。

保育公開という大きな取り組みと、目標があったことで、お互いに声を掛け合い、情報を共有することを心がけ、補い合うことから、組織の一員としてつながりあうことができたように感じている。

それぞれの持っている力を発揮し合えるように、認め合える集団を目指していきたい。

○今後の課題として

少子化が進み運営していく予算が厳しい状況が続いている。4年度は、余裕のない収入の中、園児の1名の退所による収入の減、そして物価の高騰のあおりを受け、さらに厳しい状況だった。保護者との関係づくりや、保育内容では充実した1年であったが、毎年、積立金を取り崩しながらの運営は限界が来ているように感じている。今後の運営について踏み込んで考えていきたい。

令和4年度 事業報告

月	園内行事	保護者参加事業	地域活動事業
4	入園・進級お祝い式 4日 保護者説明会 4日 交通安全教室 28日 3・4・5歳児	入園・進級お祝い式 4日 保護者説明会 4日 保護者総会 22日	しいたけ狩り・植菌活動 22日 4・5歳児 なかよし畑じゃが芋植え 26日 4・5歳児
5	妙楽寺花まつり 6日 3・4・5歳児 子どもの日の集い 10日 検尿、蟻虫検査 10日 泥んこ遊び 23日 4・5歳児 田植え 27日 4・5歳児	個人面談 16日～27日 全クラス なかよし畑作業 14日	妙楽寺花まつり 6日 3・4・5歳児 茶摘み(阿井小との交流)5日 5歳児 泥んこ遊び 23日 4・5歳児 田植え 27日 4・5歳児
6	元気アップ運動遊び① 3日 4歳児参観 親子遠足 4日 2歳児以上 奉仕作業・救急法講習会 26日 内科健診 21日 プール開き 30日	元気アップ運動遊び 3日 4歳児参観 笹巻き作り体験 20日 歳児以上 奉仕作業・救急法講習会 26日 トトロの楽校交流会 22日 4・5歳児	さつま芋の苗植え 9日 じゃが芋収穫 10日 3・4・5歳児 梅摘り 10日 5歳児 ヤマメの放流 17日 4・5歳児
7	元気アップ運動遊び② 3日 4歳児 七夕まつり 7日 夏祭り(中止、秋祭りとして実施) 元山さんと遊ぼう 20日 3・4・5歳児	あいサンホーム神輿担ぎ(中止)	笹受け渡しレシモニー 6日 あいサンホーム神輿担ぎ(中止) かかして 20日 4・5歳児 そばの種まき体験(阿井小交流) 27日
8	カレー作り 24日 3・4・5歳児 元気アップ運動遊び③ 26日 4歳児 き渡し訓練 30日	阿井地区盆踊り大会参加 そばの種まき体験(阿井小学校交流) 引き渡し訓練 30日	じゃが芋 2日 3・4・5歳児 ブルーベリー狩り 3日 5歳児・学童交流
9	おはなしなあに 3日 3・4・5歳児 親子運動会 17日 2歳児以上 交通安全事業所訪問 28日 以上児 元気アップ運動遊び④ 29日 4歳児	親子運動会 17日 2歳児以上 交通安全マスコット作り 交通安全事業所呼びかけ(白鳥クラブ) 阿井地区民運動会(中止)	おはなしなあに 3日 3・4・5歳児 稲刈り体験 22日 4・5歳児 交通安全事業所訪問 28日 3・4・5歳児
10	保育公開(雲南保育協議会) 18日 トロッコ遠足・ミニ遠足(中止) 内科健診 11日 入園お祝い会 17日(0歳児1名) 保育実習 17日～11/7日 秋祭り 25日 全園児 からすみ城登山 27日 4・5歳児	奉仕作業② 8日 保育参観 1・2歳児 14日 入園お祝い会 17日(0歳児1名)	職場体験 4日～6日(仁多中生との交流) 脱穀 6日 5歳児 芋掘り 12日 からすみ城登山 27日 4・5歳児
11	入園お祝い会 1日(0歳児1名) 保育参観(鯛の巣登山) 4日 5歳児 太鼓演奏(可部屋) 8日 4・5歳児 収穫祭 16日 ふれあいサロン交流 17日 4・5歳児 秋祭り 22日 しめ縄作り 28日 5歳児	入園お祝い会 1日(0歳児1名) 保育参観(鯛の巣登山) 4日 5歳児 太鼓演奏(可部屋) 8日 4・5歳児 クラス懇談会(全クラス) 母の集い 19日	鯛の巣登山 4日 5歳児 太鼓演奏(可部屋) 8日 4・5歳児 収穫祭 16日 ふれあいサロン交流 17日 4・5歳児 しめ縄作り 28日 5歳児
12	焼き芋 7日 歯科検診 8日 生活発表会 17日 2歳児以上 給食体験 20日 5歳児 クリスマス会 23日	生活発表会 17日 2歳児以上	焼き芋交流 7日 給食体験 20日 5歳児 クリスマス会 23日
1	新年お楽しみ会 6日 書初め とんどさん 13日 そば打ち体験 21日(5歳児親子) 祖父母参観 27日	個人面談 16日～27日(全クラス) 保育参観 20日 0歳児 そば打ち体験 21日(5歳児親子) 祖父母参観 27日	そば打ち体験 21日(5歳児親子)
2	入園お祝い会 1日(0歳児1名) 節分 3日 不審者対応訓練 16日 避難訓練・非常食試食 20日	阿井小一日入学 2日(5歳児親子)	幼小連絡会 15日 給食体験 28日 5歳児
3	内科健診 1日 ひなまつり会 2日 唐墨城記念植樹登山 15日 5歳児 引き渡し訓練 15日 令和4年度卒園式 24日	保護者総会 2日 引き渡し訓練 15日 子育て情報誌『スマイル』発行 令和4年度卒園式 24日	唐墨城記念植樹登山 15日 5歳児 子育て情報誌『スマイル』発行
年間	・入園お祝い式(随時) ・身体測定 ・誕生会 ・避難訓練 ・お弁当の日(7・8月除く)	・町内保育所、阿井小学校との交流 ・トトロの楽校(音楽療法) ・あいのゆめ(読み聞かせ) ・げんきあつぷ運動遊び4歳児(6月・7月・8月・9月・12月)	・ほかほかタイム(個人面談) ・わくわくふれあい週間(毎月) ・施設開放の日(第2水曜日)

○保健衛生実施報告

内 容	対象児	実施月日	
健康診断 内科健診	全園児 新入園児	年 2 回 (6 月・10 月・3 月) 10 月・1 月	奥出雲病院 前山昌隆小児科医師による健診を行った。
歯科検診	全園児	年 1 回 (12 月)	高松歯科 高松弘道歯科医師による検診を行った。
フッ化物洗口	4・5 歳児	毎日 昼食後実施	クラスで一斉指導により実施した。
身体測定	全園児	毎月末	身長計測・体重の増加や減少から発育状況を把握していった。
蟯虫検査	全園児	年 1 回 (5 月)	健康状態や病気などの把握をした。
検尿検査	2 歳児～ 5 歳児	年 1 回 (5 月)	健康状態や病気などの把握をした。
保健だより	保護者	プール開始時や感染症流行時期	プール準備、健康チェックカード配布や記入のお願いをした。感染症についてお知らせをし、注意喚起を行った。
園児への保健指導	全園児		手洗い・うがいや歯磨き指導を行った。 又、鼻をかむ指導やトイレットペーパーの使い方の指導を行った。
流行が予想される感染症について		保健だより クラスだより 玄関の掲示など	新型コロナウイルス感染症や夏場の感染症（ヘルパンギーナ、咽頭結膜炎、溶連菌感染症、手足口病、とびひなど）について保健だよりで知らせたり、注意喚起を行った。
その他の保健に関する取り組み			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、全園児の検温、視診、触診をし、健康状態を把握して、適切な対応や保護に努めた ・乳幼児突然死症候群（SIDS）対策として睡眠チェックを継続して行った。 …1 歳未満児はうつぶせ寝にならないように気を配り、5 分おきにチェックし記入。 …1、2 歳児は 10 分おきにチェック。 ・感染症予防の為、保育室内外などの衛生管理や消毒を行った。 ・予防注射の接種状況を確認し、未接種児については接種を促したり啓蒙に努めた。 ・園児や職員の体調管理や把握をし、サーベランスの記入を行った。 ・地域や近隣施設での感染状況の把握や情報交換をして、感染拡大防止に努めた。
感染症（胃腸炎等） 処理の仕方の講習			感染症の状況や処理の仕方などを職員会で確認し、全職員で共有できるようにした。

○各種点検について

- ・各設備の点検や保育内容における安全性、緊急時の対応などを職員間で共有し、子ども達が安心・安全に過ごせる環境づくりを行った。
- ・園舎や保育室内外の衛生や安全に気を配り、子ども達が安全に元気に活動できる環境を整えた。
令和5年3月、園庭築山の滑り台が劣化のため、撤去工事を行い、新たに築山を設置し、子ども達が安心して遊べる環境となった。
- ・感染症の発生や拡大を防ぐために消毒液を使用して、保育室内外や遊具、玩具の消毒を行い、衛生管理を行った。

危機管理	防災自主点検 備蓄品点検 避難訓練、消火避難訓練 引き渡し訓練 火災総合訓練(消防署立ち合い) 不審者対応訓練 設備・遊具安全点検チェック	年2回 (10月、2月) 年1回(3月) 毎月1回 年2回 () 年1回(3/7) 年1回(2/16) 毎月1回	非常灯、非常ベル、消火器 避難口、誘導灯の点検 非常食の賞味期限のチェック、補充 備蓄品の破損チェックや修繕 火災、地震、水害、土砂災害 通報、初期消火訓練害 巡査長立ち合い(いかのおすし) チェック項目で点検、不備破損 は修繕
衛生管理	衛生管理点検、消毒 屋内、玩具、トイレ 衛生管理点検表、給食室 個人体温チェック 検便、細菌検査 来園者の健康チェック	毎日、昼・夕方 園児降園後 毎日 出勤前、出勤時 日中、退勤時 毎回	コロナウイルス対策を兼ねる。 } 次亜塩素酸水・アルコール消毒 } 検温し、チェック表に記入 給食・乳児担当他月1回、年3回 玄関で手指消毒、検温、来園者カ ード記入
運営管理	保護者アンケート調査、評価 職員評価、自己評価	} 年1回	保護者からの要望や意見などを受 け、職員間で共有し保育の振り返り 見直しをし、更に保育向上・保育士 としての資質向上を目指していく。

○防災・安全対策について

- ・消防計画による避難訓練の中に地震や風水害時の訓練も行い、職員の組織体制をしっかりと固め、災害発生時の行動手順を通して身に付けられるように努め、速やかに行動できるように取り組んだ。

〈緊急時における引き渡し訓練〉

①8/30(火) 16:30～ 土砂災害の恐れによる避難

- ・引き渡しカードの受け渡しの手順の確認
- ・緊急時に安全に降園できるように誘導、引き渡しの安全
- ・内容…土砂災害警報→一斉メールにてお迎えのお願い→メールを受け取った方から順次、引き渡しカード提示→名簿と確認し、子どもを引き渡す。

②3/15(水) 16:30～ 地震想定による避難

- ・内容…大型地震発生→園庭へ避難し、遊戯室で待機、迎えを待つ→一斉メールで知らせ、いつも通りの迎えを伝える。メールを確認した方から、引き渡しカードを提示→名簿と確認、引き渡して降園。→非常食を渡し、各家庭で試食してもらった。

※緊急事態発生の場合の受け渡し訓練を繰り返し実施することで、子どもや保護者への意識付け、職員の臨機応変な対応や職員間の協力など、職員自身の身の安全を確保しながら、より安全に子どもを避難させ、無事に保護者の元へ引き渡せるように身に付けていくことが大切だと改めて確認できた。

※非常食を家庭で試食してもらい、家庭でも災害発生時の対応や緊急時について話題にしてもらう機会となった。

※今後、更に見直しや検討してマニュアルを作成し、園と家庭で共有して緊急時に備えていく。

〈不審者対応訓練〉

2/16(木) 9:45～ 指導 阿井駐在所 大島健一郎巡查長、亀嵩駐在所 川瀬巡查長

- ・内容…不審者が侵入し、玄関内で職員対応→警察への通報と子ども達の避難誘導→警察により不審者確保
→「いかのおすし」について、子ども達への指導

※職員の不審者対応と子どもをいかに安全に避難させるかの指導を受けた。

迫力ある演技に圧倒されたが、実際に発生した場合の職員の対応や注意点を指導していただき、さすまたの使い方や、子どもを守ると同時に対応する職員の身の安全を確保すること、咄嗟の適確な判断や職員間の連携など日頃から意識し共有することを確認した。

※引き続き、不審者対応についても日々の保育の中や活動を通して、繰り返し子ども達に伝えていく。

【所内研究】

研究主題 「ねえ、みて！ やってみたい！ あそびたい！ 子どもの思いがかなう保育を目指して」
～体づくりの取り組みの見直しを通して～

指導講師 まなび舎ぽっと代表 公認心理師 峠 優子 氏

○園内研究の会 取り組み

月日	内容
4月11日	初回の指導研修に向けて打ち合わせをした。
4月19日	これまでの研究の振り返りや主題の見直しなど、オンラインでの研修を受けた。
4月20日	前日の研修内容をふまえて ①目指す子ども像や心地良さを探る ②子どもの良さや気になるところを課題設定とする ③運動発達や運動遊びの大切さや体づくりを研究とする裏付け ④研究主題を絞る⑤個別の事例をとる など指導を受けた。
4月23日	前回の指導を受けて、研究テーマの見直しを検討した。
5月23日	感覚と知覚(感覚統合)についての基本的な知識や具体的な内容について学び、職員間で共有した。
6月13日	年齢別の育ちや取り組みについて確認し、じゃれあい・ふれあっこカードの内容や項目の見直しを行った。1・2歳児の取り組み開始について協議した。
7月4日	各年齢での事例を通して、子どもの育ちや保育で押さえるポイントについて話し合った。 体づくりの年間計画作成について協議した。 7月より1・2歳児のじゃれあい・ふれあっこスタートした。
7月11日	保育指導日に向けて日程や進め方の確認をし、準備を進めた。
7月12日	研究指導を受け、スモモの木の内容を検討した。
7月19日	スモモの木の作成やじゃれあい・ふれあっこカードの取り組みでの保護者アンケートや足型について協議した。
8月3日	保育や研究の取り組みをより伝えられるように、指導案や事例の書き方を検討した。
9月6日	じゃれあい・ふれあっこカードの分析やアンケートの分析を行った。資料としてまとめていった。
9月27日	当日に向けての資料やパワーポイントの作成の指導を受け、検討した。
10月14日	内容を見直しながら、資料作りを行った。パワーポイントの最終確認を行った。

○園内公開保、講師による保育指導

※午前中、保育公開をし、午後から講師による保育指導を行った。

① 4月19日	これまでの研究の振り返りや主題の見直しなどの検討をした。オンラインにて、具体的な研究方法や取り組みについて指導や研修を受けた。
② 5月31日	全クラスの保育と給食を公開し、子どもの姿や保育を見てもらい、これまでの園で取り組んできた研究や保育について協議した。
③ 7月12日	各クラスで取り組んでいる運動遊びやふれあい遊びを公開、0～6歳の体づくりの年間計画について検討した。スモモの木の作成について協議し、今後の取り組みの指導を受けた。
④ 9月27日	全クラス保育公開し子ども達の姿や取り組みを通して育ちや変化を共有した。 当日に向けての最終的な資料作成・ビデオ撮影など検討、指導を受けた。

○雲南保育協議会 公開保育 【10月18日】会場:仁多福社会立阿井幼稚園

研究主題 「ねえ、みて!やってみたい!あそびたい! 子どもの思いがかなう保育を目指して」
～体づくりの取り組みの見直しを通して～

指導講師 まなび舎ぽっと代表 臨床心理師 峠 優子 氏

※当日は、雲南保育協議会会長をはじめ、研究会会員、奥出雲町教育委員会教育長、教育委員、子ども家庭支援課、阿井小学校、福社会本部などに呼びかけ、阿井幼稚園を会場に午前中は保育公開をし、午後からは阿井コミュニティーセンターにて研究発表や保育について参加者で協議をした。

指導講師の講評を受け、運動遊び・ふれあい遊びを通して、乳幼児期からの心と体づくりの大切さや感覚統合についての学びの機会となった。

※3月22日…保護者総会において研究の取り組みを発表し、今後も家庭と園とで子どもの育ちを支え、共有しながら、保育していくことへの協力をお願いをした。

【所内研究】

研究主題 「ねえ、みて！ やってみたい！ あそびたい！ 子どもの思いがかなう保育を目指して」
 ～体づくりの取り組みの見直しを通して～
 指導講師 まなび舎ぽっと代表 公認心理師 峠 優子 氏

○園内研究の会 取り組み

月日	内容
4月11日	初回の指導研修に向けて打ち合わせをした。
4月19日	これまでの研究の振り返りや主題の見直しなど、オンラインでの研修を受けた。
4月20日	前日の研修内容をふまえて ①目指す子ども像や心地良さを探る ②子どもの良さや気になるところを課題設定とする ③運動発達や運動遊びの大切さや体づくりを研究とする裏付け ④研究主題を絞る⑤個別の事例をとる など指導を受けた。
4月23日	前回の指導を受けて、研究テーマの見直しを検討した。
5月23日	感覚と知覚(感覚統合)についての基本的な知識や具体的な内容について学び、職員間で共有した。
6月13日	年齢別の育ちや取り組みについて確認し、じゃれあい・ふれあっこカードの内容や項目の見直しを行った。1・2歳児の取り組み開始について協議した。
7月4日	各年齢での事例を通して、子どもの育ちや保育で押さえるポイントについて話し合った。体づくりの年間計画作成について協議した。7月より1・2歳児のじゃれあい・ふれあっこスタートした。
7月11日	保育指導日に向けて日程や進め方の確認をし、準備を進めた。
7月12日	研究指導を受け、スモモの木の内容を検討した。
7月19日	スモモの木の作成やじゃれあい・ふれあっこカードの取り組みでの保護者アンケートや足型について協議した。
8月3日	保育や研究の取り組みをより伝えられるように、指導案や事例の書き方を検討した。
9月6日	じゃれあい・ふれあっこカードの分析やアンケートの分析を行った。資料としてまとめていった。
9月27日	当日に向けての資料やパワーポイントの作成の指導を受け、検討した。
10月14日	内容を見直しながら、資料作りを行った。パワーポイントの最終確認を行った。

○園内公開保、講師による保育指導

※午前中、保育公開をし、午後から講師による保育指導を行った。

① 4月19日	これまでの研究の振り返りや主題の見直しなどの検討をした。オンラインにて、具体的な研究方法や取り組みについて指導や研修を受けた。
② 5月31日	全クラスの保育と給食を公開し、子どもの姿や保育を見てもらい、これまでの園で取り組んできた研究や保育について協議した。
③ 7月12日	各クラスで取り組んでいる運動遊びやふれあい遊びを公開、0～6歳の体づくりの年間計画について検討した。スモモの木の作成について協議し、今後の取り組みの指導を受けた。
④ 9月27日	全クラス保育公開し子ども達の姿や取り組みを通して育ちや変化を共有した。当日に向けての最終的な資料作成・ビデオ撮影など検討、指導を受けた。

○雲南保育協議会 公開保育 【10月18日】会場:仁多福社会立阿井幼稚園

研究主題 「ねえ、みて!やってみたい!あそびたい! 子どもの思いがかなう保育を目指して」
～体づくりの取り組みの見直しを通して～

指導講師 まなび舎ぱっと代表 臨床心理師 峠 優子 氏

※当日は、雲南保育協議会会長をはじめ、研究会会員、奥出雲町教育委員会教育長、教育委員、子ども家庭支援課、阿井小学校、福社会本部などに呼びかけ、阿井幼稚園を会場に午前中は保育公開をし、午後からは阿井コミュニティーセンターにて研究発表や保育について参加者で協議をした。

指導講師の講評を受け、運動遊び・ふれあい遊びを通して、乳幼児期からの心と体づくりの大切さや感覚統合についての学びの機会となった。

※3月22日…保護者総会において研究の取り組みを発表し、今後も家庭と園とで子どもの育ちを支え、共有しながら、保育していくことへの協力をお願いをした。

[令和4年度 苦情報告]

☆ 苦情処理受付担当者	主任保育士	石原 美穂子
☆ 苦情解決責任者	所 長	藤原 愛子
☆ 第3者委員	元学校長	立石 典夫
	元学校教諭	吉川 しのぶ

【苦情対応について】

4年度は相談などはあったが、苦情に該当する事案はありませんでした。

1、目的

- 様々な体験活動や地域行事への参加を通して、地域のいろいろな世代の方と触れあい、教わることで、地域の良さや活動への充実感を味わう。また、地域の方と触れ合う心地よさを感じる。
- 地域の方や子育て中の保護者に保育所での活動を知らせ、保育所や保育所に通う子どもたちに関心を持ってもらう。

☆シイタケ狩り 植菌体験

4/15・・鳥上の嵐谷さん宅山林にて体験させてもらった。植菌は園に戻ってから子どもたちそれぞれ植菌体験をした原木を頂いた。

☆田んぼ活動(ケロちゃん田んぼ)

5/23・・どろんこ・・職員7名 地域の方5名 4.5歳児14名参加

5/27・・田植え・・職員5名 地域の方14名 4,5歳園児15名参加

6/27・・田の草取り・・職員5名 地域の方4名 5,才園児15名

7/20・・・かかし立て・・職員3名 地域の方3名 5歳児7名参加

9/22・・稲刈り・・職員3名、中学生2名 地域の方11名参加 4,5歳児17名参加

9/28・・脱穀・糲摺り・・職員5名 地域の方11名 4,5歳児17名参加

11/16・・収穫祭・・お世話になった地域の方をお招きして活動の振り返りや太鼓の演奏を披露した。
園内で野菜、おこわで収穫の喜びを味わい、お世話になった地域の方に手作りプレゼントやおこわを手渡した。

11/28・・しめ縄づくり・・職員2名 地域の方3名、5歳児7名参加

☆畑活動(なかよし畑)

あずき、大豆、大根 白菜 種まき 収穫

玉ねぎ、さつま芋、じゃがいも 夏野菜 苗植え、収穫

・地域の方と一緒に野菜を育て、教えてもらいながら収穫まで行うことで、身近な野菜の成長を見たり育てる喜びを感じる体験となった。

☆茶摘み体験 5/25…小学校の茶園で4,5歳児17名が参加。

☆ヤマメの放流 6/17・・・4,5歳児参加。地域の漁協組合の人に阿井川に生息している魚の話聞いた。
放流したヤマメが大きくなって帰って来れるように川を汚さない話も聞いた。

☆あいサンホーム納涼祭参加神輿担ぎ交流。コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

☆座禅体験・・・・中止

☆そばの種まき・7/27・刈り取り雨のため中止 蕎麦打ち 1/21 名人に教わり親子で作っ

☆秋の交通安全週間呼びかけ運動

9/28・・女性部保護者会の方と作製したマスコットや子どもたちが作ったポスターと手紙を持って阿井の巡査さんと白鳥クラブの会長さんと共に阿井地区の事業所に交通安全の呼びかけに行った。

☆あいつこの集い…中止

☆鯛の巣登山・・5歳児親子参加 山の会の方5名

☆可部屋集成館前にての太鼓演奏 11/8・・・4,5歳児の太鼓演奏を行った。

☆ふれあいサロン・・11/15・・4.5歳児参加 地域の高齢者の方15名と松ぼっくりを使ったけん玉づくり
○コロナ禍が続き、まだ地域行事もなかったが、園から発信し感染症対策を講じながら地域の方といろいろな活動に取り組むことができた。地域の方のご理解と協力があってできる活動であることを再認識し、日々感謝の思いを持ちながら取り組んできた。

〔放課後児童健全育成事業〕

【目的】

放課後児童クラブ『あい』は自然豊かなこの阿井の地で出会い、触れ合い、助け合い、育ちあい、そして学びあっているようにと願い、安心できる居場所作りに努め、児童の健全育成を目指します。家庭的穏やかな雰囲気の中で、一人一人が伸び伸びと元気で過ごせる、笑顔いっぱいのクラブです。

【活動内容】

☆学習（宿題・予習・復習）の習慣づけをします。

☆自由遊びでは、自分たちで考え、見つけ出し、作りだして遊びます。

又、いろいろな体験活動を行います。（畑活動・クッキングなど）

☆地域の方との触れ合いや公民館活動参加など、地域との交流も大切にします。

☆町内の児童クラブとの交流活動を通して、つながり作りを行っています。

☆読書タイムで本に親しみます。

【対象児童】

保護者の就労等により、帰宅後、家庭に保育者がいない小学生を対象に行います。

【利用時間】

平日 下校時～18時30分

土曜日 8時00分～18時30分

学校の休業日 8時00分～18時30分

【料金】

支援員 糸原 弥生（保育助手と兼務）

支援員補助 川角 千草（ " ）

【利用児童数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
年間利用	142	154	215	160	95	165	137	160	128	105	146	128	1,735
一時利用	80	82	94	64	57	75	66	73	59	55	68	55	828
合計	222	236	309	224	152	240	203	233	187	160	214	183	2,563

【事業内容】

- ☆4月 ・入学、進級お祝い会
- ☆5月 ・夏野菜の栽培活動
- ☆6月 ・奉仕作業
保護者の方にお世話になり、児童も一緒に園舎や園庭の清掃を行った。
- ☆7月 ・川遊び
幼稚園の5歳児と一緒に、阿井川での川遊びを楽しんだ。
- ☆8月 ・ブルーベリー狩り
幼稚園5歳児と一緒に、八川の橋本農園へ行き、ブルーベリー狩りを行った。
ジャムを作り、午後のおやつにいただいた。
 - ・お祭りごっこ
おもちゃの金魚すくい、的あて、ヨーヨー釣りなどをし、お祭りの気分を味わった。
 - ・昼食クッキング（コロナ蔓延防止の為中止）
 - ・坐禅体験（コロナ蔓延防止の為中止）
 - ・プール
小学校のプール開放に出掛け、水遊びを楽しんだ。
- ☆12月 ・クリスマスお楽しみ会
プリンに自分でデコレーションをし、会食をした。
- ☆1月 ・新年お楽しみ会
幼稚園の子どもたちと一緒に、園内に準備したお店屋さんで買い物を楽しんだ。
- ☆2月 ・節分
- ☆3月 ・大掃除
年度末のため、新年度に向け、ロッカーや下駄箱などの大掃除を行った。
 - ・お楽しみ会
3月で学童利用が最後となる子もいるので、みんなで一緒に遊んだり、昼食を作って食べた
楽しい時間を過ごした。
- ☆とらいあんぐるタイム
読書の時間を設け、職員が読み聞かせを行ったり、個々の読書の時間を設け、
たくさんの本に親しんだ。
- ☆公民館活動に参加
 - ・5月 自然物を使った工作（島根県森林インストラクター指導）
消火体験
ボッチャ（軽スポーツ）
 - ・11月 唐墨城跡登山